



9月の園だより

2025年8月31日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

暑さの中にも、時折吹く涼しい風が少しずつ秋を運んでくれているようです。今年の夏も記録的な暑さが続き、毎日のように熱中症アラートが発令される日々でしたが、子どもたちは元気いっぱいこの夏を乗りきってくれました。お休みにはご家族でお出かけをしたり、ゆっくり過ごされた方も多かったと思います。ご家族と一緒に時間はお子さんにとって何よりもの幸せな時間。夏の思い出と共にひと回り大きく成長した子どもたちの姿がとても眩しく見えました。久しぶりの登園では、パパやママと涙々のお別れをするお子さんや、お友だちとの再会を嬉しそうにするお子さん、年齢によっても様々な姿がありました。9月からはまた新たな気持ちで充実した園生活を楽しめるよう、子どもたちにそっと寄り添い、環境を整えることで後押しをしていきたいと思ひます。今、季節に関係なく様々な感染症が流行しているようです。夏の疲れや季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもありますので、ご家庭でも体調管理に留意していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

クラスより

0歳ひよこ組

先月より離乳食が始まったお子さんが増え、保育者に食べさせてもらったり、自分で手づかみで食べたりしながら、モリモリと食事をするひよこ組さん。パワーもついて、歩いたり、ハイハイしたり、つかまり立ちをしたりと、それぞれの発達のパースで移動しながら、体を動かし遊んでいます。猛暑の中、戸外活動ができない時も氷遊びをして楽しみました。初めての氷になかなか触ることができずにいましたが、保育者がそっと手にあててみると、そこからは積極的に触れて氷の冷たい感触を楽しんでいました。まだまだ暑さが続きそうですが、体調に気をつけながら、保育者やお友だちと元気に笑顔で過ごしたいと思ひます。



1歳うさぎ組

徐々に自分の気持ちを伝えられるようになり、「おいしい」や「あけて」など、保育者にしてほしいことや、自分の思いを表現してやり取りができるようになったうさぎ組さん。給食やおままごとのときに、頬に手をあてて「おいしい」と言う姿も見られ、微笑ましいです。また、子ども同士で関わりながら「お散歩してるの」と言って人形を使って楽しそうに保育室を歩いている姿も見られます。保育者やお友だちとのやり取りを楽しみながら過ごせるように見守っていきたくと思ひます。着替えや食事の面に置いて、ご家庭でも取り組んでくださっていることもあり、少しずつ自分で頑張る姿が見られるようになりました。引き続きご家庭と園とで連携して成長を促していきたくと思ひます。



2歳りす組

暑かった8月も元気いっぱいに過ごしたりす組さん。室内での氷遊びでは「つめたーい！」と言いながら触れてみたり、溶けて水になっていく様子を不思議そうに眺めてみたり、小さくなった氷を「赤ちゃんみたい、かわいいね」と大切に握る姿が微笑ましかったです。生活面でも、お片付けの時間になると「(時計の矢印が)赤になったよ～」と、みんなで声を掛け合ってお片付けを始めたり、一人で衣服を脱ぎ着するだけでなく、脱いだ服を丁寧に畳んでしまったり、自分たちで気づいて行動する姿が増えてきました。たくさんの成長が見られ、一つお兄さんお姉さんになったようなりす組の子どもたち、これからは達成感を味わいながら自分でできることを増やしていけるように見守っていきたくと思ひます。



9月の予定



- 1日(月)2日(火) 身体測定
- 9日(火) 避難訓練
- 24日(水) お誕生会

*日程変更の際はお知らせいたします



9月生まれのお友だち

お誕生日おめでとう！



靴のご確認をお願いします

靴の横幅やかかとなどがきつかったり、脱げやすいかサイズ確認と、自分で挑戦しやすいものをお願いいたします。

衣服は着脱しやすく、動きやすいものを！

涼しくなりましたら、ロッカーの衣服を秋物に替えていただきますようお願いいたします。



9月の歌



つき

七つの子

とんぼのめがね





食育だより

まだまだ残暑が続いていますが、それでも朝夕の風は少しずつ秋の気配を感じるようになりました。夏の間疲れてしまった胃腸もそろそろ元気を取り戻し、食欲の秋の訪れですね。



子育ての中で食事についての悩みをお持ちではありませんか？



～咀嚼力UPには運動も大切！～

柔らかいものが増える傾向にある現代の食事。「丸飲み」や「噛めずに出してしまう」といった悩みを乳児期に多く聞かれます。食べ物を噛む力＝咀嚼力の発達には、寝返り、はいはい、あんよなど、全身を大きく動かす運動が関係しています。



～食事の量と時間～

食べる量には個人差があるので、バランスよく食べていれば、食べすぎ、少食といった量にあまりこだわる必要はありません。食事にかかる時間は20分～30分が目安ですが、自ら食べようとする自我が目覚める時期であれば、「自分で食べたい」という気持ちも大切にしていきたいものです。



～手づかみ食べについて～

10ヶ月頃になると、多くの赤ちゃんは食べ物を認識して手を出すようになります。自分から食べようとする意欲の表れです。つかんで食べやすいよう調理方法や盛り付けを工夫しましょう。



～あそび食べにはどう対応する？～

食べる気がなくなり、食べ物をおもちゃにしてしまう「あそび食べ」。子どもがある程度は自分で食べたなら、残りは介助しながら与えましょう。顔をそむけたり、イヤイヤをしたなら、ごちそうさまのサイン。早めに切り上げるようにします。

～子どもが扱いやすい食器を選ぼう～



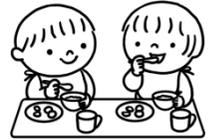
あまりに大人が食べさせてしまうと、子どもが自分で食べようとしなくなります。食器も、縁が立ち上がっていてすくいやすい器や、底に滑り止めのついた器など、子どもが使いやすいものを選ぶようにし、ひとりで食べようとする意欲を育てていきましょう。

手首の動きがしっかりしてきたら、利き手と反対の手にお椀を持って利き手で食器を使えるようになります。子どもの手の大きさに合った、持ちやすいものを用意しましょう。落としたときに割れない素材も良いですが、割れるからこそ大切に使うことを伝えられる陶器の素材も良いですね。



～与え方にひと工夫～

柔らかい物ばかりを与えたり、食べ物を細かくしすぎると、丸飲み、吸い食べの癖がついてしまいます。特に、離乳食も後期に入った頃から完了期を過ぎた頃への食事には、噛むことを意識して与え方にひと工夫してみましょう。スティック状のものを用意し、手づかみで噛み切って食べる練習をしながら、「カリコリ」「パリポリ」など食感の違いを楽しむとよいでしょう。



～「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを大切に～

「命をいただく」という意味もこめられた「いただきます」のように、食事の挨拶をすることは大切です。言葉の意味がわからない赤ちゃんでも、「けじめ」として「食事の時間」を感じられるようになります。



食事や料理に関心を持つ絵本

- 0. 1. 2歳児向け
「やさいさん」 作/tupera tupera 発行/学研教育出版
「やさいさん やさいさん だあれ」のことばのあとに「すっぽーん」とびっくりするほど大きな野菜が現れる、楽しいしかけ絵本。テンポ良く繰り返し読み聞かせましょう。
- 3. 4. 5歳児向け
「じゃがいもポテトくん」 作/長谷川 義史 発行/小学館
八百屋さんに並んだジャガイモの家族。山田さん、吉田さん…と次々に買われてしまったけれど、思いがけない場所で再会します。夕飯にジャガイモをリクエストしたくなるかも！